

## 衛生・生物化学

### 生理化学研究室

教授 中川秀夫  
助教授 三井健一郎  
助手 柴田太  
助手 高野克彦

#### ◆ 原著

- 1) Takano K., and Nakagawa H.: Contribution of cytokine-induced neutrophil chemoattractant CINC-2 and CINC-3 to neutrophil recruitment in lipopolysaccharide-induced inflammation in rats. *Inflamm. Res.*, 50:503-508, 2001.
- 2) Shiota S., Takano K., and Nakagawa H.: A 10-kDa fragment of fibronectin type III domain is a neutrophil chemoattractant purified from conditioned medium of rat granulation tissue. *Biol. Pharm. Bull.*, 24:835-837, 2001.

#### ◆ 学会報告

- 1) 戸前昌樹, 高野克彦, 森 秀一, 柴田 太, 中川秀夫: マウス・シスタチンC組換え体の作製とケモカイン産生への寄与. 第22回日本炎症・再生医学会, 2001, 7, 東京.
- 2) Miyama K., Takano K., and Nakagawa H.: Identification of C3a and N-truncated C3a as vascular permeability-enhancing factors from the exudate of chronic phase of carrageenan-induced inflammation in rats. 5th World Congress on Inflammation, 2001, 9, Edinburgh, UK.
- 3) 森 秀一, 高野克彦, 戸前昌樹, 柴田 太, 落合 宏, 中川秀夫: シスタチンCによるケモカイン産生の修飾. 第74回日本生化学会大会, 2001, 10, 京都.
- 4) 厚見育代, 高野克彦, 中川秀夫: 炎症慢性期滲出液からC3aおよび低分子C3aの精製. 日本薬学会北陸支部第105回例会, 2001, 11, 金沢.
- 5) 仲井間景子, 新田 誠, 高野克彦, 柴田 太, 中川秀夫: Epigallocatechin 3-gallateの好中球遊走抑制作用. 日本薬学会北陸支部第105回例会, 2001, 11, 金沢.
- 6) 柴田 太: ラット好中球走化性因子CINCsの炎症における役割. 日本薬学会北陸支部第105回例会, 2001, 11, 金沢.

## 衛生・生物化学

### 分子細胞機能学研究室

教授 今中常雄  
助教授 岡村昭治  
助手 守田雅志

#### ◆ 原著

- 1) Nakagawa M., Une M., Takenaka S., Tazawa Y., Nozaki S., Imanaka T., and Kuramoto T.: Urinary bile alcohol profiles in healthy and cholestatic children. *Clin. Chim. Acta.*, 314:101-106, 2001.
- 2) Ito R., Huang Y., Yao C., Shimosawa N., Suzuki Y., Kondo N., Imanaka T., Usuda N., and Ito M.: Temperature-sensitive phenotype of chinese hamster ovary cells defective in pex 5 gene. *Biochem. Biophys. Res. Commun.*, 88:321-327, 2001.

#### ◆ 学会報告

- 1) 上田和恵, 田中 幸, 小澤哲夫, 横田貞記, 岡村昭治, 守田雅志, 今中常雄: 変異型アンチトロンビン(AT Morioka)の分泌異常と細胞応答-ジスルフィド結合の役割-. 日本薬学会第121年会, 2001, 3, 札幌.
- 2) 朝比奈幸太, 守田雅志, 岡村昭治, 今中常雄: ベルオキシソームABCタンパク質PMP70の局在化シグナル(mPTS)の解析. 日本薬学会第121年会, 2001, 3, 札幌.
- 3) 柏山恭範, 守田雅志, 今中常雄: ATPによるPMP70のヌクレオチド結合ドメインの構造変化. 日本薬学会第121年会, 2001, 3, 札幌.
- 4) 菊池美紀, 成田綾香, 宮木崇典, 守田雅志, 山田 猛, 今中常雄: ABCタンパク質ALDP(ABC D1), P70R(ABCD4)の細胞内局在化と機能解析. 日本薬学会第121年会, 2001, 3, 札幌.
- 5) 岡村昭治, 北条知子, 朝野明香, 酒井孝恵, 原昌司, 山口晶生, 成田琴美, 守田雅志, 今中常雄: タバコ $\beta$ -チューブリン・アイソタイプ. 日本植物生理学会2001年度年会, 2001, 3, 福岡.
- 6) 柏山恭範, 守田雅志, 今中常雄: ベルオキシソームABCタンパク質PMP70-ATP結合・加水分解と構造変化-. 日本生化学会北陸支部第19回大会, 2001, 5, 金沢.
- 7) 東 祐輔, 深瀬浩永, 藤本康之, 森 雅博, 板部洋之, 今中常雄, 高野達哉: 肝細胞におけるapolipoprotein B含有リポタンパク質形成機構;

- verapamil による阻害とその作用機構. 日本動脈硬化学会第33回総会, 2001, 6, 東京.
- 8) 上田和恵, 田中 幸, 小澤哲夫, 横田貞記, 岡村昭治, 守田雅志, 今中常雄: ジスルフィド結合異常を示す変異型アンチトロピン(ATMorioka)の細胞内蓄積機構と細胞応答. 日本生化学会第74回年会, 2001, 10, 京都.
  - 9) 富本大介, 村崎善之, 守田雅志, 今中常雄: ラット肝癌細胞H4IIEにおけるペルオキシソーム膜ABCタンパク質PMP70の存在状態の解析. 日本生化学会第74回年会, 2001, 10, 京都.
  - 10) 柏山恭範, 守田雅志, 今中常雄: ABCタンパク質PMP70のATP結合・加水分解による構造変化. 日本生化学会第74回年会, 2001, 10, 京都.
  - 11) 栗栖幹典, 守田雅志, 林 潤, 西村幹夫, 今中常雄: 昆虫細胞Sf21におけるペルオキシソーム膜タンパク質ALDPの大量発現と構造解析. 日本生化学会第74回年会, 2001, 10, 京都.
  - 12) 伊藤正樹, 伊東利津, 黄 縁, Can Yao, 下沢伸行, 鈴木康之, 近藤直実, 今中常雄, 臼田信光: 温度感受性PEX5変異株におけるペルオキシソームタンパク質の移行異常. 日本生化学会第74回年会, 2001, 10, 京都.
  - 13) 成田琴美, 北条知子, 酒井孝恵, 原 昌司, 三ツ井麗子, 守田雅志, 今中常雄, 岡村昭治: タバコ $\beta$ -チューブリンアイソタイプNTB3タンパク質の性質と分布. 日本生化学会第74回年会, 2001, 10, 京都.
  - 14) 山口晶生, 成田琴美, 三ツ井麗子, 朝野明香, 守田雅志, 今中常雄, 岡村昭治: タバコBY2細胞 $\beta$ -tubulin isotype mRNAのreal-time RT-PCRによる解析. 日本生化学会第74回年会, 2001, 10, 京都.
  - 15) 東 祐輔, 深瀬浩永, 藤本康之, 森 雅博, 板部洋之, 今中常雄, 高野達哉: 肝細胞におけるapolipoproteinB含有リポタンパク質形成機構; verapamilによる阻害とその作用機構. 日本生化学会第74回年会, 2001, 10, 京都.
  - 16) 守田雅志, 柏山恭範, 朝比奈幸太, 富本大介, 今中常雄: ペルオキシソームABCタンパク質PMP70の構造と機能の解析. 第23回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2001, 11, 熊本.
  - 17) 今中常雄, 守田雅志: ペルオキシソームABCトランスポーターの構造と機能. (ワークショップ) 第24回日本分子生物学会年会, 2001, 12, 横浜.
  - 18) 上田和恵, 田中 幸, 小澤哲夫, 横田貞記, 岡村昭治, 守田雅志, 今中常雄: 変異型アンチトロピン・モリオカ (C95R) のRussell body様構造体への蓄積機構-システイン残基の役割-. 第24回日本分子生物学会年会, 2001, 12, 横浜.
  - 19) 伊東利津, 黄 縁, 今中常雄, 臼田信光, 伊藤正樹: 温度感受性PEX5変異株におけるペルオキシソーム酵素の移行異常. 第24回日本分子生物学会年会, 2001, 12, 横浜.
  - 20) 伊藤 良, 塚本利朗, 今中常雄, 大隅 隆: マグネットビーズを用いたペルオキシソームの精製. 第24回日本分子生物学会年会, 2001, 12, 横浜.
- ◆ その他
- 1) 今中常雄: ABCトランスポーターと脂質代謝. フォーラム富山「創薬」第3回研究会, 2001, 1, 富山.
  - 2) 今中常雄, 守田雅志: ALDPの機能解析ならびに大量発現の試み. ワークショップ・副腎白質ジストロフィーの治療法開発のための臨床のおよび基礎的研究, 2001, 1, 東京.
  - 3) Tanaka Y., Ueda K., Morita M., and Imanaka T: Intracellular accumulation of antithrombin Morioka (Cys95Arg), a novel mutation causing type I antithrombin deficiency. US-Japan Conference on Drug Development and Rational Drug Therapy, 2001, 8, Tokyo.